

「燕市まちづくり基本条例 市民フォーラム」

アンケート結果

回答者について

(1) 性別 (2) 年齢

10～20歳代	男性	0人
	女性	0人
	合計	0人
30歳代	男性	2人
	女性	2人
	合計	4人
40歳代	男性	5人
	女性	2人
	合計	7人
50歳代	男性	11人
	女性	2人
	合計	13人

60歳代	男性	12人
	女性	5人
	無回答	3人
	合計	20人
70歳以上	男性	4人
	女性	0人
	合計	6人
無回答	女性	1人
	無回答	1人
	合計	2人

合計	男性	34人
	女性	12人
	無回答	6人
	合計	52人

参加者総数	111人
回収率	46.85%

市民フォーラムの開催について

(3) 燕市がまちづくり基本条例の制定に取り組んでいることをご存じでしたか？

知っていた	47人
知らなかった	4人
無回答	1人

(4) フォーラムに参加して、以前より「市民と市とのパートナーシップ（協働）によるまちづくり」が必要だと感じましたか？

はい	50人
いいえ	0人
無回答	2人

まちづくり基本条例について

(5) 「まちづくり基本条例」制定によって、どんな効果を期待しますか。
(3つまで選んで回答)

市民の権利や役割が明らかになり、市民の主体的なまちづくりが活発になる	31人
各主体の連携、協力体制が構築され、協働のまちづくりが推進される	28人
市職員の意識が向上し、市民と市職員との信頼関係が高まる	22人
情報共有が進むことで、市民のまちづくりへの関心が高まる	20人
行政の役割や責務が明らかになり、分かりやすく効率的な市政が行われる	19人
市民参画の手続きが明らかになり、市民が積極的に市政へ参加できるようになる	18人

その他の意見

- ・ 制定しただけでは何も変わらない。制定に参加した委員(職員も)が積極的にまちづくりに関わって、市民への啓発活動に取り組んでほしい。
- ・ 条例に関わった委員が一番よく分かるし、愛着もあるだろうと思う。引き続き、広める活動を続けられるようにしてほしい。これがどのくらい市民に浸透するかどうかで、まちづくりが違ってくる。制定して、広報でお知らせした程度では無意味。

(6) 「まちづくり基本条例」に関するご質問や、ご要望・ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

条例に関するものではありませんが、今日の会議内容ですが、解説の場面では、直接アドバイザーとして参加された馬場先生の説明をもう少し聞きたかったです。
公募委員として関わってきたので特にありませんが、市民に広く理解され、明るい燕市となることを望みます。

<p>市民、職員の意識が特定の人だけ向上して、結果的にまた特定の人だけが難儀する構図では困る。広く浅く、色々な層に拡大していくような条例に進化していかなければならない。そのように期待します。</p>
<p>早急に条例として制定できるものにして、議会を経て完成させてほしい。</p>
<p>制定しないより、制定した方がよい。この条例ができあがったときに、市民協働のまちづくりに、この理念が生かされることを期待したい。各地区での基本条例の勉強会を開催して理解を深めてほしい。</p>
<p>以前、ボランティアで参加していて、2月頃次年度の活動計画を立てるとき、予算に提出したがまだ審議前なので教えられないとの市職員の話がありました。通るか通らないかは別として、「このような企画をしています」と話しても当然ではないかと感じていたことがこのとき以外にもあり、誰のために市職員になっているのかと思うことがよくありました。むしろ、企画の段階で関係者(市民)に意見を聞くべきだと思います。今後を注目しています。</p>
<p>今まで市が行っていたおまつりステージ、長寿まつりなど各地域に押し付けているように思う。今まで市が行っていたものを押し付けるのではなく、各地域なりの新しい事業に目を向けてもらいたい。</p>
<p>市民は「行政」について素人です。裁判員制度も素人です。素人の意見から意外と良いヒントもあります(過去に実例もあります)。本来ならプロが組み立てていくべきですが、そうも行かない面も出て来ています。市民の声を聞くことも時代の流れでしょう。</p>
<p>NPO法人に頼り過ぎずに、市政の自助努力を望みます。</p>
<p>立派な条例素案ができあがったが、どのように市民に知らせるか、理解してもらうかが今後の課題です。自治会は常に情報の共有を行っています。更に市民全員が共有した、共通した考え方になってほしい。</p>
<p>まちづくり基本条例に市民の温度差がある。市民意識の向上がこれから課題だと思う。向上に向けてこれからも努力してください。大変お疲れ様でした。</p>
<p>もう少し、市議会議員の責務を盛り込んでもらいたかった。</p>
<p>基本条例の素案はすばらしいものだと思います。出来るものなら早めに提案をして、まとめてほしいと思います。</p>
<p>「住民投票条例」は敢えて制定する必要がないと考えます。地方自治法にも規定があり、事あるごとに安易に乱用されては、自治体が特定の勢力のために破壊される危険性がある。</p>
<p>各自治会のレベルアップが急務である。</p>
<p>燕市も地方都市ですが、だんだんと都市型化するように各家庭同士のふれ合い、人と人同士のふれ合いが減少しています。そのことが基本理念などに盛り込まれているのだと思います。</p>
<p>市職員の職務資質は向上しているが、更なる向上に努めてほしい(条文は不要です)。</p>
<p>長い間ご苦労さまでした。これからがスタート！！</p>
<p>第2章地域コミュニティの自治会とまちづくり協議会の役割に責任を感じました。</p>
<p>市民による発表は良かった。しかし各自が名前を言っても良かったのでは？</p> <p>【事務局からの回答】今回は、検討に関わった市民の皆さんから役割分担を行った上で、全員で検討の成果やまちづくりへの想いを発表していただくという前例のない取り組みとなりました。話し方の早い人、ゆっくりな人など、皆さんいろいろな個性があります。事前のリハーサルや夜間の打ち合わせなどにも、快く参加していただき、準備してきましたが、当日は時間が読めず、午後から他のイベントが予定されていたこともあり、時間どおりに進めるため、失礼とは思いましたが発表者のお名前は省略させていただきました。</p>
<p>パネルディスカッションに女性が入った方が良かったのでは？</p> <p>【事務局からの回答】男女共同参画の推進の観点から積極的な女性の登用を進めることが必要です。今回のパネルディスカッションもそういった考えはありましたが、市民検討会議の皆さんの積極的な姿勢を尊重した結果(「話が上手だから」「場慣れしているから」「性別、年齢などに関係なく)、今回的人選となりました。</p>
<p>検討会議のメンバーの平均年齢が高く、若い人の意見をどのように汲み入れたのか知りたい。</p> <p>【事務局からの回答】平成20年度の取り組み開始に当たり、自由参加の学習会を継続して8回開催し、延べ500人以上の皆さんからご参加いただきました。毎回アンケートを行い、楽しみながら議論する方法など、皆さんが市政に参加しやすい環境づくりや仕組みづくりといったことを心がけてきました。そのアンケートの中でも若い人の参加が少ないという意見が多くあげられていました。平成21年度、具体的な検討を行う市民検討会議の委員を公募しましたが、やはり若い人の応募が少ないという結果になりました。そこで、市民公募委員のほかに職員からも委員として参加を依頼し、特に20代から30代の若手の職員が市民と職員の両方の立場や視点で検討に積極的に参加してきました。</p>